

科目コード	A126
授業科目名	働く人々の健康と生活を学ぶ実習
授業科目名(英文)	Practicum on Occupational Health and Worker's life
講義室等	
学科	看護学科
対象学年	1年
開講学期	通年
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	45
該当ディプロマ	◎看DP-4
該当コンピテンス	◎看CP-6、○看CP-7、△看CP-3
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	中谷 淳子
授業の概要	人々の健康は、従事する仕事に大きく影響され、その影響はリタイア後も続く。本実習では、人々の健康、生活、労働との関連を多角的に捉え、働く人々の健康保持増進のための支援の重要性や看護の役割を理解することを目的とする。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 人々にとっての働くことの意味を理解し説明できる。 2. 労働や労働環境、働き方が人々の生活や健康に及ぼす影響を理解し説明できる。 3. 人々の生活や健康が労働に及ぼす影響を理解し説明できる。 4. 働く人の健康支援の重要性とその理由を述べることができる。 5. 事業場で行われている産業保健・看護活動を知り、働く人の健康支援の方策について述べるができる。
予習復習の所要時間	実習時間45時間
成績評価方法	実習評価表に基づき評価し、60点以上を合格とする
教科書	河野啓子著「産業看護学」(最新版)(日本看護協会出版会)
参考書	
その他	

	実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	1日目：オリエンテーション、自己学習 2日目：働く人のインタビュー 3日目：地区調査 4日目：企業実習 5日目：学内学習と学びの共有	1日目：オリエンテーション、学内での自己学習 2日目：グループ毎に働く人へのインタビューを実施 3日目：対象者が生活する地域を歩き、アセスメントする 4日目：臨地（企業）で産業保健活動の講義の受講および働く場を見学する 5日目：グループワークと発表	中谷 淳子 栗山 知子